

こまるやまこふん  
7. 小丸山古墳

■ 指定日

昭和49年3月22日

■ 種別

兵庫県指定史跡

■ 年代

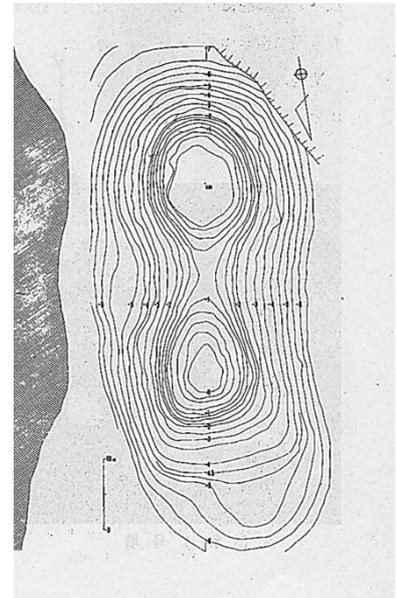
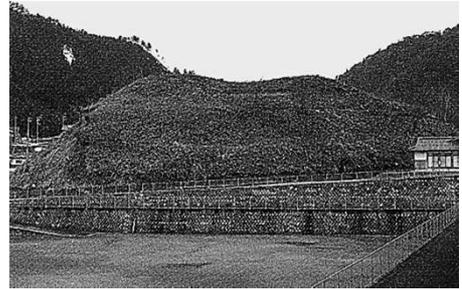
古墳時代後期

■ 所在地

朝来市和田山町岡田

■ 所有者

朝来市岡田区



■ 内容

円山川支流、東河川流域の平野を望む独立丘陵(比高差30m)を修飾して築造した前方後円墳。

全長約60m、後円部径30m、前方部幅21m。後円部と比較して前方部が約30cm高くなっている。主軸方向は北から少し東にずれる。後円部頂部は非常に平坦で広い。くびれ部はかなり長く、東側くびれ部においては造出状を呈する平坦面がある。この部分から円筒埴輪片が出土している。主体部構造は明らかでない。

埴輪の形態的特徴より、古墳時代後期、6世紀前半から中頃に築造されたと推定される。